

# テーマ 今治市の地域福祉活動について

# 地域交流実践演習1

平成27年6月11日(木)  
14:30~17:40

第6・7回授業

地域における「新たな支え合い」  
・地域で生活するうえで生ずるさまざまな生活課題への対応は、まず自助で行われる。しかし、家庭内での対応が限界に達し、特に高齢者の単独世帯や高齢者が世帯主である世帯等が増加し、自助対応が難しくなっている以上、地域に「新たな支え合い」として「共助」が大切になってくる。行政と住民団体、NPO・NGOなど多様な市民主体の連携が大切で、企業、行政が参画して活動に参加し、決められた活動による地域の生活課題を解決することから、この意味での共助は必要といえる。

講師 島崎 義弘 先生



各班の発表 & 全体のまとめ

## 1. 今治市の現状について

人口減少。特に島しょ部。  
外国人が多い  
→ 色々な文化を学べる

## 2. 地域福祉の考え方

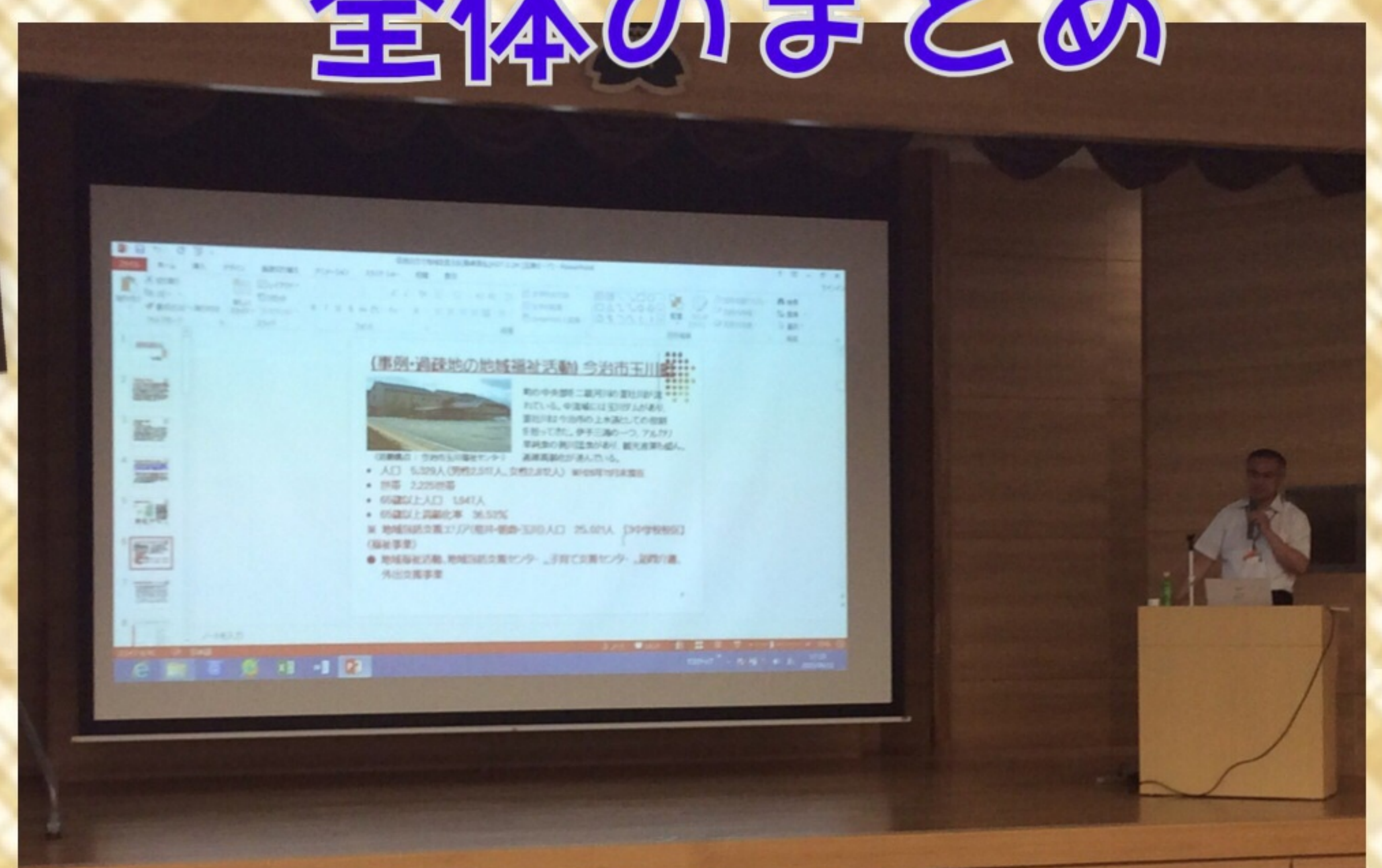
人が『助ける』『助け合う』という相互の関係にまで高め合う仕組み。しかし、現在、様々な状況から地域には、新たな支え合いとして、住民主体の『共助』が大切になっている。

## 3. なぜ、地域なのか？

代わることのできない人間関係や居場所がある人は情緒的サポートなしには生きていけない  
社会関係の継続



グループワーク中



## 各グループの代表による発表

1. 地域の良いところ  
自然が豊かで、食べ物が美味しい  
しまなみサイクリング、タオルなど  
治安良い。地域の繋がりがある
2. 地域の問題点  
過疎化。市内で核家族化(別世帯)  
JR等交通の便が悪い  
連帯感が少ない 盗難が多い  
駅前に入る店がない  
マナーが悪い(障害者・歩行者)に対して
3. どう解決すればよい？  
働く場所を増やす 親の息抜きの場を作る。  
おばあちゃんと子どもの交流 出合いの場を作る  
ゴミをよく捨てる場所に看板を立てる 罰金を取る